

信州まつもと空港の利用促進と持続可能な地域交通事業 の再構築について

【総務文教部会】

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、信州まつもと空港は利用者の急激な減少に見舞われ、路線の安定的な運航及び路線の維持が心配される状況となっている。

信州まつもと空港は、長野県にとって唯一の空の玄関口であり、東京を経由することなく、国内外につながる重要な交通の拠点であることから、その役割は非常に重要となっている。今後、旅行需要が回復した段階で、積極的に利用促進が図られるよう、引き続き県の主導的な取り組みを要望する。

また、人口減少の本格化に加え、コロナ禍が重なる中で、地域の公共交通を民間事業者の努力により維持していくことはこれまで以上に困難な状況となっている。

国において「地域公共交通活性化再生法」が改正され、全ての地方公共団体に「地域公共交通計画」の策定が努力義務とされる中、アフターコロナを見据え、官民連携により持続可能で最適な地域公共交通を再構築することが重要である。

このため、長野県では「長野県公共交通活性化協議会」が、再生法に基づく「法定協議会」として改組されたところであるが、今後とも県の主導のもと、県・市町村・交通事業者が一体となり、再構築への取り組みが推進されるよう要望する。